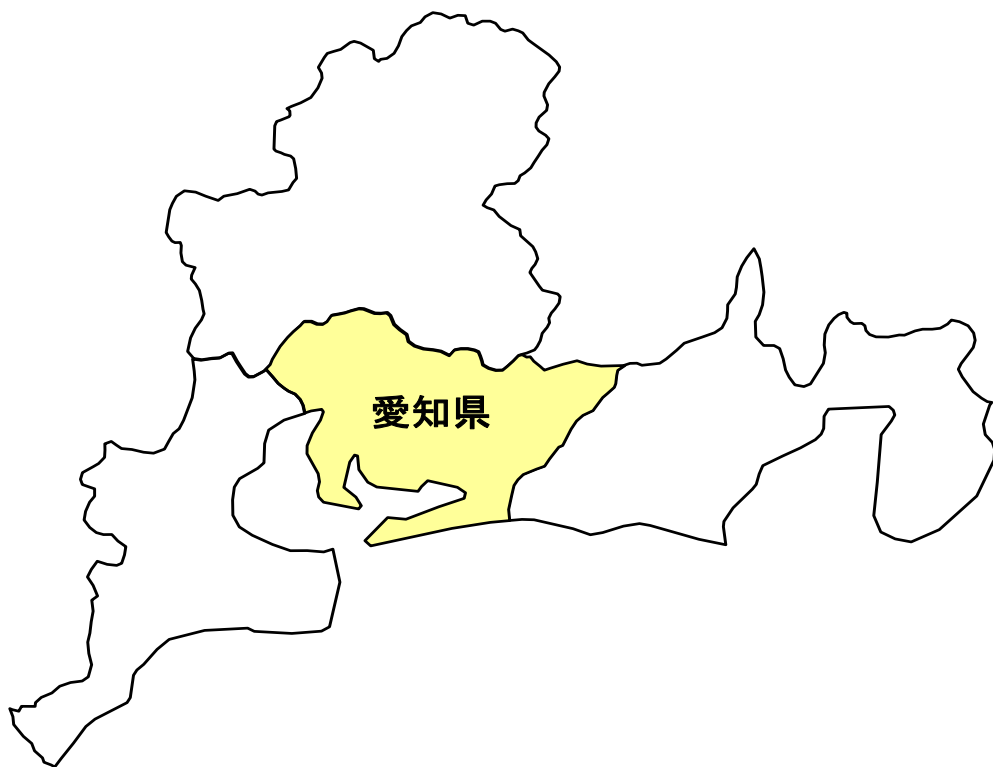


最近の愛知県内経済情勢について

(県内経済情勢報告)



令和6年4月


財務省 東海財務局

1. 総論

愛知県内経済は、回復の動きに一服感がみられる。

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、回復していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

【総括判断】

項目	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）	前回との比較
総括判断	一部に弱さがみられるものの、回復している	回復の動きに一服感がみられる	

（注）6年4月判断は、前回6年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、持ち直している。生産活動は、足踏みの状況にある。雇用情勢は、緩やかに改善している。

【各項目の判断】

項目	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）
個人消費	持ち直している	持ち直している
生産活動	一部に弱さがみられるものの、自動車関連を中心に回復している	足踏みの状況にある
雇用情勢	企業側の人手不足感が強まっているなか、雇用情勢は、緩やかに改善している	緩やかに改善しているが、企業の手不足感は強まっている

2. 各論

最近の愛知県内経済情勢における各項目の動向は、以下のとおりとなっている。

（主要項目）

個人消費は、持ち直している

スーパー販売は、緩やかに持ち直しつつある。コンビニエンスストア販売は、緩やかに持ち直している。ドラッグストア販売は、好調に推移している。百貨店販売は、緩やかに回復

している。家電大型専門店販売は、弱い動きとなっている。ホームセンター販売は、弱い動きとなっている。乗用車販売は、供給面の影響により、弱まっている。

生産活動は、足踏みの状況にある

自動車関連は、回復の動きに足踏みがみられる。金属工作機械は、弱い動きとなっている。電気機械は、足踏みの状況にある。普通鋼は、緩やかに持ち直している。特殊鋼は、緩やかに持ち直している。

雇用情勢は、緩やかに改善しているが、企業の人手不足感は強まっている

有効求人倍率はおおむね横ばいで推移している。完全失業率は低水準である。法人企業景気予測調査（6年1-3月期〈調査時点・6年2月15日〉）の従業員数判断BSIで見ると、いずれの規模においても、また、製造業・非製造業いずれにおいても「不足気味」となっている。

（その他の項目）

住宅建設 — 前年を上回っている。

設備投資 — 5年度は増加見込み。

公共事業 — 前年を上回っている。

輸出入(円ベース) — 輸出は緩やかに増加している。輸入は前年を下回っている。

企業収益 — 5年度は増益見込み。

企業の景況感 — 全産業の現状判断（6年1-3月期）は、「下降」超となっている。

倒産 — 企業倒産件数は前年並みとなっている。

3. 県内景気に関する地域の声

- ・ 各種イベント等の再開により来店客数は増加しているが、節約志向の影響から購入に結びつかないケースが増えている。また、値上げ幅の大きなアパレルショップで売上が減少する一方、高付加価値の飲食店は売上を伸ばしているなど、消費の二極化がみられる。

（ショッピングセンター）

- ・ 一部自動車メーカーの工場稼働停止の影響は少なからずあり、生産台数的には見込んでいたよりも減少しているが、需要は十分に力強い状況だと思われる。

（輸送機械）

- ・ 従業員は各店舗で慢性的に不足しており、特に深夜帯の従業員確保が厳しい状況。観光業や宿泊業が高水準の時給で募集を行っているため、当社の求人が選ばれにくくなっているのではないか。

（小売）

1. 本調査結果に関する問い合わせは下記へお願いします。

財務省東海財務局 経済調査課

TEL(052)951-2632(ダイヤルイン)

2. 愛知県内経済情勢報告は下記ホームページでもご覧頂けます。

<https://lfb.mof.go.jp/tokai/>